

2020年3月3日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

RPA ツール「WinActor®」がまたもや進化！ ～「WinActorEye(RPA 初搭載の画像認識方式:特許出願中)」と 監査等ガバナンス強化用「ログ送受信機能」を実装へ～

NTT アドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT・AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村丈治)は、2014 年の商品化・発売以来ご好評をいただいている純国産 No.1RPA「WinActor」をまたもや進化させました。

その目的はずばり、初心者はもちろん上級プログラマーの方々にとっても、また、現場のデスクトップユースはもとより大規模なエンタープライズユースにおいても「つまずかない、つまずいても転ばない」誰もが使い易い RPA のさらなる追求です。

このコンセプトを実現するため、今回新たに、画期的な画像認識機能「WinActorEye(ウインアクターアイ)」を実装(RPA に初搭載の複数の探索条件を多段に組み合わせて目的のアイコンや UI を特定する技術<特許出願中>と、スクリーン OCR との組み合わせによる画面文字のテキスト検索機能)しました。これにより RPA 担当者の悩みの種となる Web ページやアプリケーション画面の予期せぬ変化に、シナリオを変更することなく容易に追従できますので、運用時のつまずきが格段に削減されます。

さらに、大規模エンタープライズでの RPA 運用に求められる監査等ガバナンス強化では、「操作ログ送受信機能」がお役に立ちます。WinActor の管理サーバー上へのシナリオ実行ログのセキュアな保存により、WinActor が「いつ」「何をしたか」の事後検証が可能となります。

WinActor 製品としては、今年 1 月 30 日から、当初来のソフトウェアアーキテクチャーをゼロから見直し、フルリメイクしたメジャーバージョンアップ版 WinActor Ver.7.0 を販売しています。Ver.7 シリーズでは、標榜する“次世代 RPA”の名に相応しい新機能を続々搭載してまいります。今回、それらの中から特にお客様のご要望の多い機能を選びすぐり、現在最もご利用者様の多い Ver.6 シリーズの最終版である WinActor Ver6.3 に先行搭載し、3 月 4 日(水)から販売開始するものです。

■WinActor について

WinActor は、NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、NTT・AT が商品化した純国産の RPA です。Windows®アプリケーション、Web アプリケーションで行うさまざまな操作を「シナリオ」として記録し、自動化します。定型的な繰り返し作業や、大量データを扱う作業を正確に再現することが可能です。さらに、既存システムに手を加えることなく、これまで人手で行ってきた複雑な操作や、複数システムにまたがるデータの投入を自動化し、人手作業の効率・品質・コストの大幅な改善につなげることができます。

WinActor は、企業等の働き方改革・業務効率化に貢献するツールとして日本で最も注目されている RPA のひとつであり、日本企業の業務にマッチした純国産 RPA として、金融業から物流・小売業と幅広い分野の 4,700 社を超える企業に導入され、大企業のほか中堅・中小企業や全国の自治体にも利用が増え続けています。

■画像認識機能「WinActorEye」

⇒ 従来の画像認識機能に加え、新たに、複数の探索条件を多段に組み合わせて目的のアイコンや UI を特定できるようになります。本機能が保有するヒストグラム検索技術により、画面の拡大・縮小への対応が強化されたほか、スクリーン OCR 機能を利用して画面上の文字をテキストに変換して読み取ることができます。これにより、画面を今までより正確に把握することができ、シナリオを変更することなく Web ページやアプリケーションの予期せぬ画面変化に追従することが可能となります。

※ スクリーン OCR 機能は Microsoft OCR を利用します。

【画面の拡大縮小に強いマッチング(ヒストグラム探索)】



■操作ログ送受信機能

⇒ WinActor で行われた実行操作・保存操作のログを、WinActor の管理サーバー (WinActor Manager on Cloud、WinDirector® powered by NTT-AT) 上にセキュアに保存できるようになります。実行ログを確認することで、一連の業務自動処理において、WinActor が「いつ」「何をしたか」の事後検証が可能となり、大規模なエンタープライズユースにおける厳しい要求条件にも対応できます (監査等ガバナンス対応)。

また、syslog サーバーへの実行ログ保存にも対応しているため、WinActor の管理サーバーをお持ちでないお客様でも、WinActor1 台からの実行ログ保存機能をご利用できます。

※本機能に対応した WinActor Manager on Cloud Ver.3.1 は 2020 年 3 月 16 日、WinDirector powered by NTT-AT の対応は 2020 年春のリリースを予定しています。あらかじめご了承ください。

■Firefox 操作の自動記録機能

⇒ IE、Google Chrome に加え、Firefox の操作を自動記録できるようになります。これにより、作成できるシナリオのバリエーションが広がり、かつ、これまで以上にシナリオ作成が容易になります。

※別途 Firefox 上でアドオン(拡張機能)のインストールが必要です。

WinActor は、今後とも「現場フレンドリー」の思想を一層進化・深化させ、WinActor に関わる多くのパートナー企業様とともに、エンタープライズでの大規模利用から、地方、中小を問わず企業現場のデスクトップ利用に至るまで、ますます高度化・多様化するお客様ご要望を反映・先取りした製品開発と環境の迅速・着実なご提供を進める、カスタマーサクセスを実現し、お客様の働き方改革・業務効率化を通じたデジタルトランスフォーメーション(DX)に貢献します。

■年間ライセンス料(メーカー希望小売価格)

WinActor Ver.6.3(ノードロックライセンス版:従来品) フル機能版 90.8 万円、実行版 24.8 万円

WinActor Ver.6.3(フローティングライセンス版+ライセンス管理ソフトウェア) オープン価格

※上記製品のライセンス費用以外の付随サービスは一切含みません。

※ライセンス管理ソフトウェアのご利用にあたっては、別途サーバー構築等が必要です。

■販売について

販売に関する詳細(お見積りや製品デモ、評価版など)につきましては、下記の当社公式サイトから、直接販売代理店へお問い合わせください。

お問い合わせ先:<https://winactor.biz/reseller/>

※ WinActor は NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

※ WinDirector は、株式会社 NTT データの登録商標です。

※ 記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【商品に関するお問い合わせ先】

NTT アドバンステクノロジー株式会社

WinActor お問い合わせページ

<https://winactor.biz/inquiry/winactor.html>

【報道関係のお問い合わせ先】

NTT アドバンステクノロジー株式会社

経営企画部

コーポレート・コミュニケーション部門

担当:加藤・須貝

E-mail:inquiry@ml.ntt-at.co.jp